

## 「富山市草島公民館」日帰り語り部講実施報告 11月12編集

令和2年11月3日（祝火）、有峰森林文化村の団体公募済の文化活動行事である日帰り語り部講を富山市立草島公民館より16名をお迎えして開催致しました。例年の有峰森林文化村の行事は、「山じまい感謝の集い」で終了ですが、今年は、カラマツ（落葉松）が黄葉する錦秋の有峰を満喫戴こうと、この「日帰り語り部講」が最後の行事として企画・実行されました。この「日帰り語り部講」は、霜鳥（主務）と平野（副主務）担当で対応しました。当日の天気は心配されましたが、開催時間帯は幸運にも晴天に恵まれ、待望のカラマツの黄葉も真っ盛り、冠雪した薬師岳も眺望できる「日帰り語り部講」日和となりました。

午前8:10草島公民館を出発、9:40有峰森林文化村ビジターセンターにて「はじまりの会」を開催、次長吉江の挨拶に続き、担当霜鳥より、有峰森林文化村等の紹介、本日の行程説明を行いました。10時過ぎ、最初の目的地は、有峰ダムが一望できる有峰湖展望台で、有峰ダムの紹介、記念撮影を行いました。冷タ谷遊歩道ショートコース散策前に、陸続きとなった宝来島を最短で眺望できる有峰湖畔を散策、湖底が露出したことで眺望できる立ち枯れの木を鑑賞しながら、薬師岳を背景に記念撮影を行いました。参加者の皆さんは、この摩訶不思議な風景に歓喜、ご満悦の様子でした。湖畔から鑑賞できるカラマツの黄葉にも感慨無量のご様子でした。11:40今回の主要目的地冷タ谷キャンプ場に到着、昼食をとりました。昼食後、冷タ谷キャンプ場より、渇水状態となった湖畔まで下り、湖畔の散策、ここでも薬師岳を背景に記念撮影を行いました。13:00冷タ谷キャンプ場を出発し、最後の目的地で「永遠の木」の鑑賞、記念撮影を行いました。13:40ビジターセンターに戻り、アンケートの記入、村民登録などを実施戴きました。14:00より「ふりかえりの会」を実施。次長吉江の挨拶に続き、担当霜鳥より本日の日帰り語り部講参加へのお礼を述べました。「ふりかえりの会」終了後、参加者へのお礼を兼ね有峰森林文化村職員による「森のミニ音楽会」を開催、オカリナ演奏、ギター演奏を行いました。「ふるさと」「アメージング・グレイス」や「遠くへ行きたい」などヒーリングミュージックを選曲しました。

見送り時点で、ニホンザルが出没するハプニングも

あり、楽しい一時となりました。その後、有峰森林文化村職員、ビジターセンターよりお見送りをし、当文化村の最後の行事「日帰り語り部講」を終了しました。



本日のスケジュールを説明する指導員霜鳥



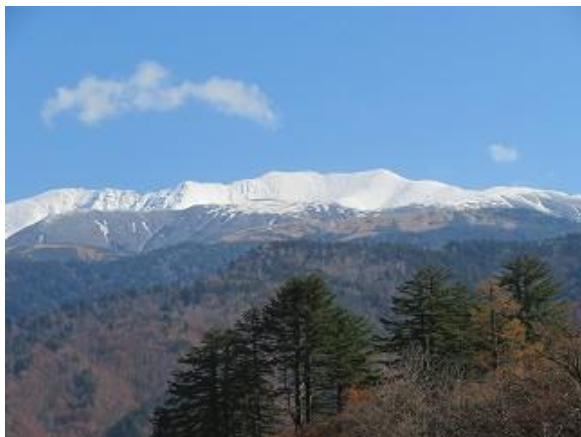
「有峰湖展望台」にて記念撮影



宝来島散策中の参加者



宝来島最短の有峰湖畔散策中の参加者



宝来島最短の有峰湖畔より冠雪の薬師岳を眺望



冷夕谷キャンプ場下有峰湖畔から薬師岳を眺望



宝来島最短の有峰湖畔にて記念撮影



有峰湖畔よりカラマツの黄葉を眺望



宝来島散策の帰路ガズミの実の説明をする指導員平野



冷夕谷キャンプ場下有峰湖畔で記念撮影



冷夕谷キャンプ場ロッジで昼食中の参加者



冷夕谷キャンプ場下有峰湖畔散策中の参加者



冷タ谷キャンプ場散策中の参加者



冷タ谷キャンプ場でドングリ拾いする参加者



「永遠の木」鑑賞中の参加者



「森のミニ音楽会」でギター演奏中の指導員霜鳥



「森のミニ音楽会」でオカリナ演奏中の指導員森永



「ふりかえりの会」で挨拶する次長吉江